

激動の2018年決戦へ!

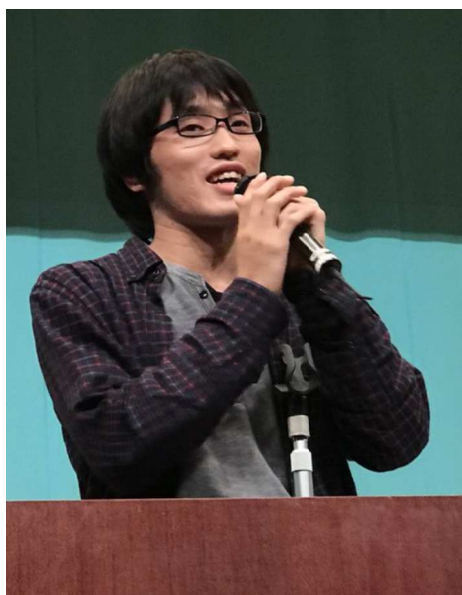
2017年11月29日
No.497

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信



安田淳敏 京都大学会同学会副委員長



みなさんこんにちは。私とここにいる阿津さんは、不当にも10月31日、3カ月前の公務執行妨害なるものをデッチ上げられて逮捕されました。みなさんの熱いご支援のおかげで11月17日に不起訴で釈

放されました。ありがとうございます。

今回の僕らへの一連の弾圧・逮捕は、中核派潰しの学生運動弾圧、それも京大に対する京大新人潰しの重要な一環だと思っています。

最近力士が暴行を振るったということでニュースになっていますが、報道によれば年内に書類送検ということで、本来そうあるべきです。逮捕なんてよっぽど危険の蓋然性が高くなきゃしちやいけなと思うんですよ。それを、革命勢力を潰すためだったら「公務執行妨害」とか「免状不実記載」とか、どう見てもこじつけとしか言いようのない罪状をデッチあげる。ひとたび逮捕したら推定無罪も黙秘権も形骸化するような取り調べや監禁、言わば刑罰の先取りということをや。で、一旦権力の恣意で有罪が確定したら、生かしてやるだけ有難く思えと言わんばかりの過酷な生活を強いる。そんな好き放題やってる奴らにこの社会の秩序なんて任せなくていいと思っています。

私は今回の治安弾圧というのを直接受けたことによって、「この国に革命を」ということの重要な一側面というものを掴むことができたと思っています。この経験を生かして、星野さん大坂さん、獄中にいる全ての同

志を解放するためにいっそう闘いを進めていくと共に、逮捕に限らずこの世界にあるすべての抑圧を取っ払うためにこれからも全学連、同学会の活動家として頑張っていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

阿津良典 京都大学同学会書記長



みなさん奪還されました。どうもありがとうございます。

10月31日の逮捕ということで、僕はあのハッピーハロウィン逮捕ということでした。朝バイトから帰ってきたら、駅の前で5人の黒服の男に

囲まれて逮捕されたんですけど、獄中の中でも絶対みなさんが奪還してくれると信じていたので、なんの心配もせずに完黙・非転向で出てきました。

ついに僕にも逮捕がきたかということで、逮捕されて完黙して出てきたわけですけども、やはりこの弾圧に慣れてはいけないということを改めて思いました。罪状は「公務執行妨害」なんですけど、2カ月前に立て看板の撤去に抗議したこととか、職員の無断のカメラ撮影に抗議して、職員の側からタックルしてきたのに対して手を回したとか、よくわからんことを勾留理由開示公判で言われてたんですけど、やはりこの理不尽な弾圧に慣れてしまっているところがあると思うんで



す。これにどこまでも慣れてはいけなくて、徹底的に闘わなくちゃいけないと改めて思いました。

獄中の飯はそんなに美味しくなかったんですけど、正直言った話、出たところでめちゃくちゃ高価なご飯が毎日食べられるわけではないですけども、やはり一番大きいのはですね、獄中には自由がなくて、自分の意志で決定して自分がやりたいように生きていけるような開放的な人間の生活がないんですよ。そういうところに僕は18日間ですけど、ただけでもう絶対入りたくないという感じになりました。考えてみれば何十年も入って不屈に闘っている同志がいると。しかもその理由は、沖縄の労働者・学生との連帯であって、世界の労働者・学生の連帯にかけて闘って、しかも今もずっと僕が生まれる前から闘っているんですよ。生まれる前からずっと刑務所にいるわけですよ。僕が運動して4年目ですけど、星野さん、大坂さんという人がいてとか聞いてきたんですけど、それが当たり前になってしまっているというのはやっぱりおかしい。僕が運動に参加した当時の先輩は、「星野さんはいま理不尽にも獄中にとらわれているけれども、やっぱりこれはおかしくって出来ることならば今すぐに獄中の壁をぶち抜いてでも助け出さなくちゃいけないんだ。それができないのは、まだ僕たちに力が足りていないからなんだけれども、いつか必ずこれを命がけでやりたいんだ」というふうに言ってくれた先輩がいました。改めてそういう気持ちでこれからも、昨日もまた2名理不尽に弾圧で逮捕されましたけども、そういう弾圧に全部みんな協力して一体の弾圧だというふうに認識して、これからも京都大学で闘っていきたいと思えます。